

# 第3学年 単元名 こん虫のかんさつ

## 1 本時の実践について

### (1) 本時の目標

昆虫の成虫の体は頭、胸および腹からできていることを理解している。(知識・技能)

### (2) ICT活用場面について

#### 【使用するアプリ】

「カメラ機能」「インターネット検索」「Google Classroom(以下「クラスルーム」という)」

#### 導入

①第一次で撮った虫の動画を見せる。

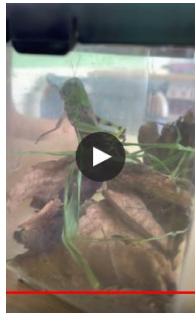


前回虫取りをした時の動画です。以前学習した「チョウ」と同じように、他の虫も昆虫と言えますか。

【問題】他の虫もチョウと同じ体のつくりだろうか。

#### 観察

②テレビモニターに拡大して映したバッタの動画を見て、ワークシートに体のつくりを書き込む。



バッタは、あえて胸側が見えないように動画を撮る

もう少しゆっくり確認したいから、「クラスルーム」のストリームにバッタの動画を載せてください。



やっぱりこの動画だと、昆虫かどうか分からないよ。

(ストリームにアップしたバッタの動画)



チョウの時みたいに、バッタの腹側の動画がみたいな。

教室にいるバッタをタブレットで撮り直してもいいかな。それを、ぼくがストリームにアップするよ。





(タブレットを使ってバッタの腹側の写真を撮っている様子)



(ストリームにアップしたバッタの腹側の写真)



〇〇くんが載せてくれた写真を拡大してみると、頭・胸・腹に分かれていることがよく分かるね。足もきちんと6本あったからこん虫といえるね。

③バッタ以外の虫もインターネット検索や図鑑を使って調べ、ワークシートに書き込む。



バッタは捕まえられたけれど、トンボやカブトムシは捕まえられなかったから、バッタみたいに写真に撮って観察できないね。



インターネット検索や図鑑を使って調べるのはどうかな。



背中側だと分からないから・・・



あっ！腹側の画像があったぞ。

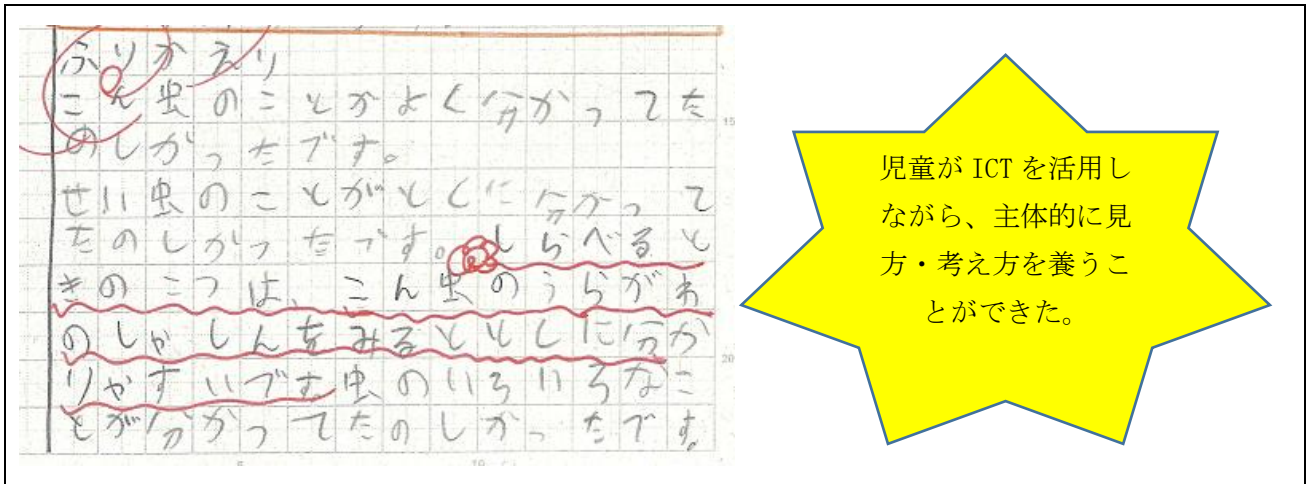
**考察**

④自分のワークシートをタブレットで撮り、テレビモニターで拡大して発表する。



インターネット検索で、クモの腹側の画像を探して観察しました。

クモは、頭部と腹部しかなく、足が8本もあるので、昆虫ではないと分かりました。



## 2 成果と課題

### 成果

- ・本校児童が住む地域は、住宅や店が多く、昆虫をたくさん取れる環境にない。そのため、今回のインターネット検索や図鑑で調べる活動が大いに役に立った。
- ・学習指導要領では、「直接観察することを通して」とあるため、事前に虫取りをし、取ったバッタを教室で飼育した。餌を入れたり、眺めたりと毎日のように接していた。しかし、授業で「バッタは昆虫と言えるか」と問うと、はっきりと答えられる児童はいなかった。さらに、数少ないバッタを授業でもう一度しっかり観察したくても、全員では難しい。そこで、児童が代表で動画や写真を撮り、それをクラスルームにアップしてみんなで見ようと提案した。実物のバッタ（具体物）から動画や写真（半具体物）へと移行し、クラス全体で観察をしていくうえで、クラスルームやカメラ機能が有効であった。
- ・考えを共有する場面でも、同じ動画や写真を使って話し合うことで、全体でのまとめもスムーズにつながった。
- ・動画をクラスルームにアップしておくことにより、自分のタイミングで何度でも見て確認しながら観察することができた。

### 課題

- ・児童が撮った写真をクラスルームのストリームで共有する方法が難しく、時間がかかってしまったことが課題である。普段から様々な機能に慣れておくことも大切だと感じた。